

中身も充実 元気もいもい

2009年府職労文化祭



府職労文化祭を10月17日、いきいきエッセンスセンターで開催しました。舞台・手づくりコーナー・お茶会・展示コーナーと盛りだくさんの内容でした。舞台では演奏・踊り・マジック・けん玉・劇・コースと組合員の多彩な芸が披露されました。手づくりコーナーでは、木工作品・ストラップづくり・きり絵作成などでも素晴らしい作品が次々と出来上がっていました。展示コーナーでは生け花やビーズ作品や退職者の参加作品もあり、心が和みました。来年はぜひあなたも参加してください。

府職労 現業評議会

府当局に対し 09年要求書・要望書を提出

府職労現業評議会は10月15日(木)、2009年現業要求書及び要望書を府知事あてに提出しました。いま、現業職員をとりまく情勢は全国的に厳しさを増しています。賃金面では、最高額でも36万8800円までしか到達しない国行政職(二)表への給料表の切替えや、現業独自の賃金カットが各地で行われ、また業務面では、住民の安心・安全を守るための自治体業務における現業の役割、

大阪府においても、退職後不補充による職場の縮小が続く、賃金の問題では、副主査制度における任用枠の制限という差別的な取り扱いが行われ、どれだけ真面目に働き、成績がよくても、給料表では2級のまま

という職員が大量に発生するという事態となっています。そして、副主査問題での本部交渉時に当局が表明した、いわゆる「現業のあり方」問題についても、具体的な中身については棚上げのままとなっています。

現業評議会では、提出した要求書・要望書に基づき、団体交渉で追求し、現業要求書へ向け引き続き奮闘します。みなさんのご協力をよろしくお願いします。



民・現業職員犠牲の府の施策にかかる事項、府立病院機構に派遣されている職員の具体的項目、非常勤職員の賃金・労働条件の改善や公契約条制制定などの項目をあげています。

過重労働が発生する職場実態

労働安全職場巡視



10月7日、大阪府職員労働衛生週間行事の一環として、職場巡視が実施されました。今回は、大阪府岸和田子ども家庭センターの職場巡視でした。

⑤ 配偶者暴力相談センターとしての機能を目的として、四つの課に分かれてそれぞれの相談業務をおこなっています。組織の再編や管轄地域の増に伴い、建物が増築され、本館はかなりの古く、風通しの問題、照明、湿気など使いにくいところもあるように感じましたが、工夫しておられるようでした。

岸和田子ども家庭センターは、昭和38年に新設され、現在は、大阪府の南部地域(8市4町)を管轄しています。センターでは、①児童の福祉の増進を図るとともに青少年の健全育成を図る②母子家庭等の福祉の増進③生活保護④児童虐待の防止、児童虐待を受け

た児童の保護のための措置です。個人がしんどさを抱えないよう、対応は、原則複数でセンターとして対応に当たるといことでした。産業界の濱野先生から、「子ども家庭センターの職員の過重労働については、面接を開始した時から、大変な状況を所属長からも若い職員さんからも聞き、なんとか改善を訴えてきた職場である。社会としてもっとバックアップできるようなシステムを作っていないのか」という感想も出されました。(労安委員 小山智美)